別紙　1

日常生活等の状況について

これは、療育手帳の判定を行う際の参考にさせていただくものです。
ご本人の普段の状況について、申請される本人、または保護者の方に伺います。
次の各項目について、もっとも近いものに ○ をしてください。

本人氏名＿＿＿＿＿＿＿＿　　生年月日　　年　　月　　日

記入日　　年　　月　　日　　記入者氏名　　（　　）

項目		1	2	3	4
日常生活の状況	食事	全面的に介助が必要。	スプーンを使うことができる。コップを持って飲むことができる。	箸を使ってだいたいこぼさずに食べることができる。	自分で食事ができ、配膳や片づけをすることができる。
	排泄	事前に伝えることができない。全面的に介助が必要。	事前に伝えることができるが、一人でトイレに行くことができない。	一人でトイレに行くことはできるが、処理に介助が必要。	ほぼ自分でできる。
	着脱衣	全面的に介助が必要。	ボタンが無い等、簡単な服は自分で着たり脱いだりできる。	前後、表裏を間違えることなく、着ることができるが、確認が必要。	ほぼ自分でできる。
	入浴	全面的に介助が必要。	体を洗うために指示と介助が必要。	体の手の届くところを洗うことはできるが、一部介助が必要。	一人で背中を洗ったり、シャンプーしたりできる。
	公共交通機関の利用	付添があっても利用は難しい。	付添があれば利用できる。	練習すれば乗り換えがない区間を一人で利用できる。	ある程度一人で利用できる。
	言葉の理解	言葉が理解できない。	「だめ」「やめなさい」の指示や身近な言葉はだいたいわかる。	日常生活に関する話は大体理解できる。	新聞や本などを読んである程度内容を理解できる。
	意志表示	自分から伝えることができない。	身振り、手振り、単語で要求や意思を伝えることができる。	言葉で意思を伝えることができる。	文字を使って意思を伝えることができる。
	社会性	周囲の人への関心が薄い。	グループに居ることはできるが、介助する人との関わりが中心。	見守りのあるグループで、仲間と一緒に行動できる。	見守りのあるグループの中で、ある程度役割を持つことができる。
	作業	できない。	指示があれば、ごく簡単な用事などはできる。	指示や見守りがあれば、簡単な作業はできる。	理解ある職場で働くことができる。
	読み書き・計算	できない。	自分の名前を読むことはできるが、書くことはできない。１０以内は数えることができる。	間違いはあっても、言葉や短い文の読み書きはできる。簡単な足し算、引き算はできる。	自分で考えた短い文章を書くことができる。簡単なおつりの計算ができる。

保健・医療の状況

◎現在、治療中の病気がありますか。○をしてください。　　**ない　/　ある**

「ある」と答えた方　＊病名（　　）

＊入院中の方は、入院先などについて教えてください。

病院・科名（　　病院・医院　　科）

時期　（　　年　　月頃～ ）

＊てんかん発作がある方は、その頻度に○をしてください。

・毎日　・週に数回　・月に数回　・年に数回

行動の状況

◎当てはまる（または、近い）ものがあれば○をしてください。

・異食がある　・目的なく歩き回る　・じっとしていられない
・自分の体を傷つける　・着ているものを破る
・その他（　　）

特記事項

◎本人の状況で、気になることや大きな変化があれば記載してください。